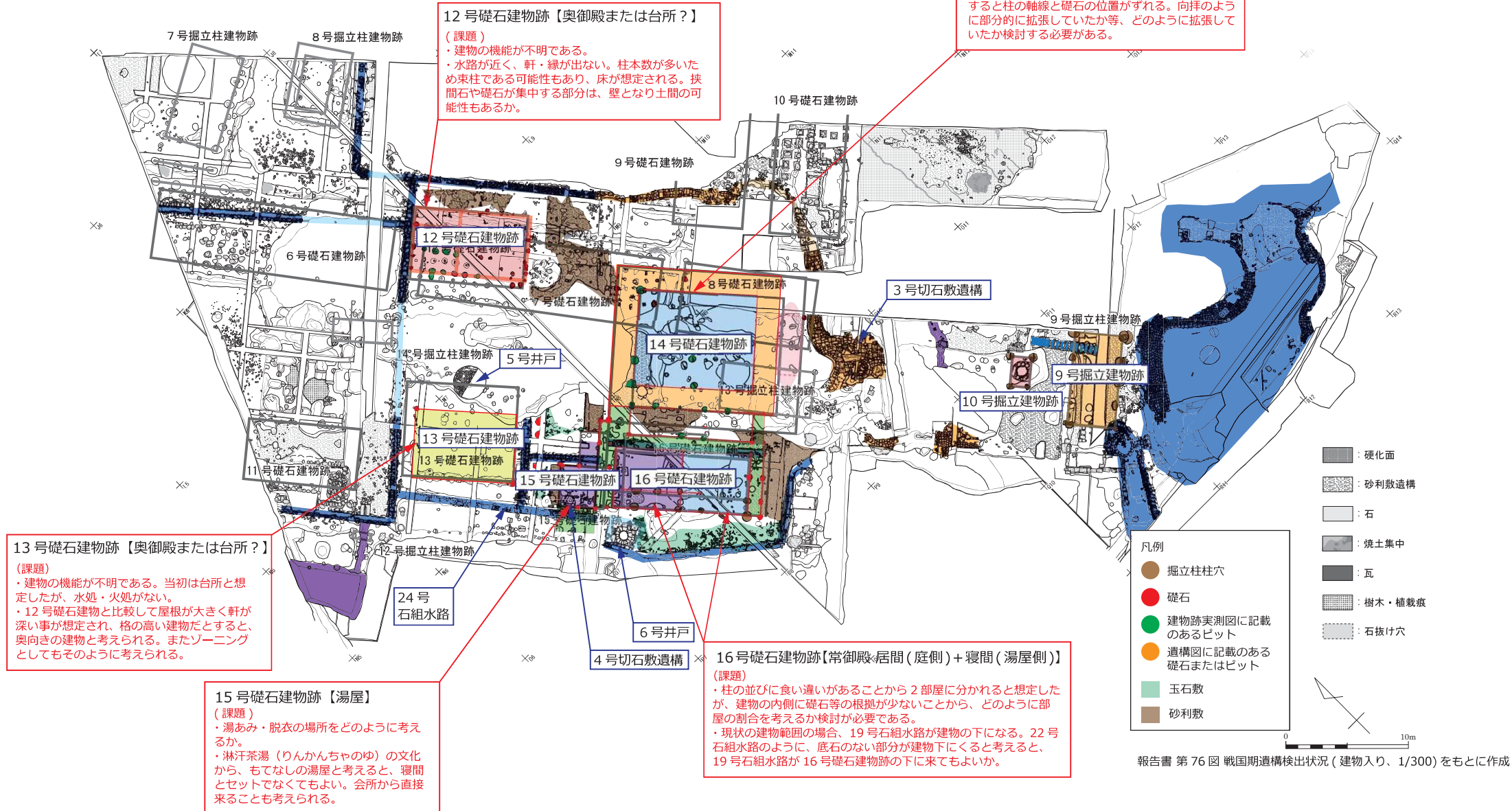


4. 建造物検討の課題点（全体図 S=1：300）

資料4-5

■全体的な課題点

- ・建物に特定の名称を付けるかどうか。設定した名称に解釈がつけられてしまう可能性があるが、名称（機能）を設定した方が整備における活用や説明がしやすい。日記等から建物名や部屋名が出てくると扱いやすい。
- ・礎石や抜取土坑等、建物の痕跡が少ないため検討が難しい状況である。
- ・庭園がどういった建物と存在し、空間を構成していたかという視点で検討が必要である。
- ・12号礎石建物・13号礎石建物が共に奥の空間であれば接続する可能性もあるが、間の範囲が削平を受けており不明である。
- ・火処が確認されていないことから、明確に台所と設定できる建物がない。
- ・砂利敷・玉石敷が空間構成にどのような影響を与えるか検討が必要である。



No	史跡	所在地	整備概要	建造物	庭園	遺構表示	活用等参考例
1	勝山館跡	北海道上ノ国町	構築年代不明だが、江戸時代の記録等によれば15世紀に和人の拠点としてつくられたとされる。館は南から北に傾斜する斜面を利用して段丘状に造られ、東西両側はそれぞれ自然の溪谷を防御とする。H12～22年度まで整備事業実施。全体を回遊できる整備ルート。ガイダンス施設の設置。R3年度整備計画策定。	主郭部分で客殿を含む建物の平面表示を実施(建物範囲＋柱の平面位置表示＋砂利敷)	池等の庭園遺構は確認されておらず、広場のような庭？	道路、土塁、空堀、虎口、墳墓等	ガイダンス施設あり。模型展示で敷地全体の様子を伝える。
2	根城跡	青森県八戸市	昭和16(1941)年に国史跡指定。昭和52年に史跡根城跡保存管理計画策定。平成6(1994)年史跡根城の広場オープン。安土桃山時代の復原建造物を整備。本丸の主殿・馬屋などを整備。令和2年に第2次整備基本計画を策定。バリアフリー化と周期更新計画を導入。	主殿、上馬屋、鍛冶工房、木橋、門、虎口などを復原整備。常御殿、物見などは平面表示。	園池等の庭園遺構はなし。各エリアに応じた植栽を実施。	土塁、堀跡の整備	復元建物＋生活再現展示は体験型展示を構想する際の参考となる。
3	堀越城跡	青森県弘前市	津軽為信の時代、1594年に堀越城を改修し大浦城から移転。堀越城は1611年まで津軽氏の居城であった。1985年、弘前城跡に追加する形で国史跡に指定され、「津軽氏城跡」に改称。現在の堀越城跡の形は、1594年の大改修時の構造が基本とされ、土塁・三重堀を復元し、2020年に全面公開。管理棟・休憩施設等の活用施設も整備。	本丸御殿広間跡、本丸東門跡の他、居間、台所、長局などの奥向きの建物群を平面表示。礎石建物は復元礎石により、掘立柱建物は柱位置を立体表示。	確認されず？	土塁、堀、土橋の復元	段階的な整備と公開
4	小田城跡	茨城県つくば市	昭和10年に国史跡指定。中世に常陸南部を支配した小田氏の居城跡である。平成28(2016)年に本丸跡とその周辺を「小田城跡歴史ひろば」として復元整備。土塁・三重堀を一部造成して園路を設置し、堀底に架かる木橋・虎口・庭園池を原位置復元。ガイダンス施設で出土品を常設展示。	発見された建物跡の柱位置や大きさを元に休憩施設を整備。その他、城主の屋敷など建物跡を平面表示。	東池整備	堀、土塁を復元。南西虎口を型取りしレプリカで整備。北橋・東橋の整備。	遺構展示室で、室町時代以降に土塁と堀が外側に広がる様子を表示。
5	楽山園	群馬県甘楽町	江戸時代初期に織田氏によって造られた小幡藩邸の庭園。池泉回遊式庭園。2000年に国名勝に指定。2012年に工事完了・公開。	御殿は絵図で確認された部屋割りに従って緑石による平面表示。茶屋は復元整備。	景石は実物展示。砂岩には薬剤処理を実施。護岸の景石等、遺失した景石は裏側に鉄を打ち新補石であることが分かる処理をした上で補足している。	石積・土塁・矢来等の区画施設の復元整備を実施。	ドラマロケ地として多数活用
6	八王子城跡	東京都八王子市	小田原北条氏三代目氏康の三男、氏照が築いた山城。平成2(1990)年に御主殿地区の石垣・虎口などの通路・古道が整備された。基本構想(2018)で保存・活用・森林管理を一体化。御主殿地区では石垣・石畳・虎口・曳橋を発掘成果に基づき復元し、大手道は石段・石畳を含めバリアフリー対応で再整備。	主殿の半立体表示(床まで)。	枯山水風の仮整備を実施。景石はレプリカで整備。	石垣・石畳・虎口・曳橋を整備。	展示解説スペースのほか、休憩・レクチャースペースを兼ねたガイダンス施設あり。
7	金沢城 玉泉院丸庭園	石川県金沢市	三代藩主前田利常が寛永11年(1634)に作庭を始め、廃藩時まで城内玉泉院丸に存在していた庭園。平成27年に整備完了。庭園遺構を埋戻して保存層を確保し、整備。	休憩施設として茶室を整備	保護層上に庭園全体を復元整備。景石は自然石を使用？植栽は史料等から復元。	石垣の整備	庭園と石垣ライトアップを実施。庭園の全景を眺められる休憩所「玉泉庵」の整備。
8	一乗谷朝倉氏遺跡	福井県福井市	戦国時代に一乗谷城を中心に越前国を支配した戦国大名朝倉氏の遺跡。発掘成果を基に武家屋敷や町並を立体復元し、庭園遺構は現位置保存と補修を繰り返す。令和3年度に再整備計画を策定。	御殿は実物遺構による平面表示。町並を、発掘調査で見つかった塀の石垣や建物の礎石をそのまま使用して忠実に復原。博物館で朝倉館の原寸復元展示。	庭園は石組・景石等を露出展示。露出遺構の長期保存・来訪者動線を両立させる「パレット舗装」を整備。	各地区ごとに実物を活かした整備を実施(土塁、石垣、溝、土坑、石組施設等)	一乗谷朝倉氏遺跡博物館2022年開館。博物館内では遺構展示室、朝倉館原寸再現もあり。
9	武田氏館跡	山梨県甲府市	永正16年(1519)に武田信虎によって築かれた方形の館。昭和13年(1938)国史跡に指定。平成16年から22年まで1期工事と並行しながら大手門周辺の発掘を実施。まず外周部を史跡公園化し、館内部へ順次拡大。近年は西曲輪虎口の復元と「信玄ミュージアム」を核に回遊性を向上。	建物表示は無し？	主郭(中曲輪)で庭園遺構、西曲輪で立石等の遺構が確認されるが、未整備？	虎口の修理。松木堀護岸、馬出の整備。	ガイダンス施設(甲府市武田氏館跡歴史館(信玄ミュージアム)あり。
10	高梨氏館跡	長野県中野市	2001年に高梨氏館跡公園として整備。2007年に国史跡に指定される。北信地方を代表する有力国人領主の本拠地の大規模な方形館跡であり、枯山水様式の庭園を持ち、3段階以上の土塁の変遷過程が把握された。	平面表示、井戸枠、復元的な橋の整備	枯山水様式の復元庭園	空堀、土塁、石組水路、石積方形堅穴	旧高遠町(現伊那市高遠町)から寄贈されたタカオコヒガンザクラが10本植樹
11	東氏館跡庭園	岐阜県郡上市	1979年園場整備工事中に発見。発掘調査でほぼ完全姿を残て池を中心に庭園遺構が確認される。1987年 国名勝指定。池泉と中島を露出保存し、現在は周囲にフィールドミュージアム型の展示施設を配置。	建物跡は未整備(確認されず？)篠脇城跡山上部から礎石建物跡が確認される。	東氏の庭園は露出展示？篠脇城跡山上部からも庭園遺構が確認される。	特になし	古今伝授の里フィールドミュージアム(展示＋学習施設)整備済み。
12	篠山城 二の丸庭園・大書院	兵庫県丹波篠山市	慶長14年(1609)、徳川家康の命により西国諸大名が動員されて築かれた。平成12年(2000)大書院を木造復元し、周囲は御殿跡平面表示＋築山のみ復元。	大書院を木造復元、御殿跡は平面表示。	二の丸に庭園遺構が一部残るが、未整備か。	築山を復元。石垣、井戸の修理。	重要伝建の城下町景観と連携し、一体で観光運営。
13	吉川元春館跡・万徳院跡 歴史公園	広島県北広島町	1583年に建設を始めた吉川元春の隠居所。1591年に当主であった三男広家が移転して館の機能を失い、1600年に以降廃墟。発掘調査一池泉庭園・蒸し風呂・台所等を部分復元し、「戦国の庭歴史館」を併設。体験プログラム(かまど焚き・蒸し風呂)で“生活文化”まで見せる整備が特徴。	吉川元春館跡では、台所等を立体復元。その他、主殿舎、遠侍、常御所、馬小屋等を平面表示。万徳院跡では湯屋を立体復元。	滝石組・三尊石を配した主庭園と平庭を整備。	石垣の整備	ガイダンス施設「戦国の庭歴史館」あり。
14	大内氏館跡・築山跡	山口県山口市	山口を拠点に勢力を誇った守護大名である大内氏の遺跡。築山跡は2023 年開園。発掘終了区画を「築山跡史跡公園」として整備し、庭園と土塁を部分復元。	築山跡では掘立柱の館跡を平面表示で整備。	大内氏館跡では、池泉庭園、枯山水庭園を整備。	築山跡では南堀・東堀を平面表示。築地(土塁)を立体整備。	リーフレットで地下遺構の保存層厚さを明示し、見学者に保護意義を周知。
15	勝瑞城館跡	徳島県藍住町	阿波の実権を握っていた三好氏の居城跡と推定されている。平成9年度から発掘調査開始。平成11年度に枯山水庭園が確認される。平成13年国史跡指定。平成16年度・17年度に実施した調査では、池泉庭園が確認される。	会所を復元整備。平面表示あり。	会所に付随する枯山水庭園を整備。	復元土塁、濠、区画溝を整備。	
16	松山城 二之丸史跡庭園	愛媛県松山市	加藤嘉明公が1602年から築城を開始。城の完成前に会津藩へ転封となり、蒲生氏を経て1635年から明治維新までの235年間に渡り、親藩大名であった松平家の居城となった。城山山頂に本丸があり、裾野に二之丸、三之丸がある。望楼型二重櫓である野原櫓が現存。二の丸は御殿跡を平面表示し、建物間取り表現。	表御殿跡は各地のカンキツ類や草花で昔の部屋の間取りを表現。奥御殿跡は水と砂利と芝生で昔の部屋の間取りを表現。	3つの庭園を整備。表御殿跡は北半分にある「柑橘・草花園」で、各地のカンキツ類や草花で昔の部屋の間取りを表現。奥御殿跡は西南部にある「流水園」で水と砂利と芝生で昔の部屋の間取りを表現。東側の「林泉庭」は、露岩を背景にした池や滝を配置。	露出大井戸遺構は露出展示。	年4回のライトアップと茶室貸室で運営収益化。平面表示＋植栽は、建物を立体復元しない場合でも視覚的に機能分けを示すことができる。間取りを来訪者に直感的に示す際に有効だが管理が課題か。
17	湯築城跡	愛媛県松山市	中世の伊予国の守護であった河野氏が南北朝期から戦国期(14世紀前半～16世紀末)まで、約250年間にわたって居城した。16世紀前半には周囲に外堀を築き、二重堀と二重土塁を巡らせたと推定される。曲輪内に武家屋敷を土塁上に復元。	家臣団居住区の武家屋敷を2か所立体復元。庭園区・上級武士居住区は舗装による平面表示。	園池、芝生広場、植栽を整備。	堀と土塁の整備。土塁展示室で土塁の内部構造や築造過程が分かる断面を展示	湯築城資料館において、調査概要、歴史、武士の生活について展示。
18	大友氏館跡	大分県大分市	北部九州六方国の守護職を務めた大友宗麟の館跡。平成13(2001)年に国史跡指定。平成27(2015)年に基本計画(第1期)を策定し、庭園整備を行う。令和2(2020)年に整備計画改訂版を策定。中心建物域の復元検討の成果を反映させ、令和22(2040)年度までの見直しを行う。	中心建物域は現在検討中。庭園に隣接する白玉砂利敷設範囲は、建物があつたとされる。土系舗装に玉石を敷設して整備。	東西67m、南北30mの池を持つ。東池はGRCによるレプリカの景石で整備。西池は遺構の景石を保存処理。州浜は同形の自然石で整備。	池に付随する溝跡等を整備。	

勝山館跡



建物表示



土塁・空堀

堀越城跡



建物表示



建物表示

根城跡



全景



建物表示

楽山園



石組水路



石組水路



建物表示



井戸



建物表示



滝口

一乗谷朝倉氏遺跡



建物表示



建物表示



石組（庭園）



建物表示



井戸



砂利敷・玉石敷

八王子城



会所跡 建物表示



会所跡 建物表示



御主殿跡 建物表示



御主殿跡 建物表示

小田城



遺構表示



園池と建物表示



園池

東氏館跡庭園



園池

高梨氏館跡



園池



建物表示

松山城 二之丸史跡庭園



建物表示



井戸

大内氏館跡



園池

玉泉院丸庭園



園池と休憩施設



園池

勝瑞城館跡



建物表示



堀跡

湯築城跡



建物表示

吉川元春館跡



全景



井戸



園池

篠山城



建物表示



御殿跡 建物表示

大友氏館跡



園池



園池



景石

3. 全国の整備事例を参考とした南側平場整備例

全国の整備事例を踏まえて南側平場整備を検討した。

資料5-4



S=1:400

凡例

- 石組水路
- 切石遺構
- 溝・堀
- 井戸
- 礎石柱建物（建物範囲）
- 掘立柱建物（建物範囲）
- 玉石敷
- 砂利敷
- かわかけ廃棄土坑
- 山の復元範囲

北東土塁

蔵跡
平面表示

北西土塁

石組水路



楽山園



楽山園

瓦積塀
整備範囲

砂利敷仕上げ



一乗谷朝倉氏遺跡

水路跡（石組）

建物表示



一乗谷朝倉氏遺跡



楽山園



勝山館跡

切石敷遺構

※切石敷遺構をレプリカで再現する



大友氏館跡

井戸跡



一乗谷朝倉氏遺跡



吉川元春館跡

砂利敷
仕上げ

13号礎石建物跡

15号礎石
建物跡

井戸跡

16号礎石建物跡

玉石敷
仕上げ

14号礎石建物跡

3号
切石敷遺構

25号
石組
水路

井戸跡

10号掘立柱
建物跡

9号掘立柱建物跡

1号池

2号池

井戸跡

※切石敷遺構をレプリカで再現する



小田城

の復元

池跡



玉泉院丸庭園



吉川元春館跡



大友氏館跡



大友氏館跡

堀範囲の表示
(池底の温生植物植栽)

0 10 20 30 40 50m